

環境基本計画後期計画の指標・目標値に関わる事務事業及び取組の実施状況

(1) 背景と目的

各課では、後期計画の「指標・目標値」を達成するため、関連した事務事業及び取組（以下、「事務事業等」とする）を推進している。この事務事業等の進捗状況について、各課に対して照会を行い、後期計画を評価するための1つの指標として整理した。

(2) 調査（照会）実施期間

平成 22 年 11 月 30 日から平成 22 年 12 月 17 日

(3) 調査（照会）実施期間

後期計画における指標・目標値に関連した事務事業等について、実施概況を表 1 に示す。

事業としては、概ね「順調」に進捗しており、次年度以降も「継続」する事業がほとんどである。実施状況について、表 2 に整理した。

表 1 指標・目標値に関わる事務事業等の実施概況

基本目標	市の施策（関連する事務事業等）			
	進捗状況	事業数	継続性	事業数
①循環型社会の構築	順調	25	継続	29
	遅延	5	検討中	4
	計画段階	4	中止（完了）	1
②良好な生活環境の確保	順調	27	継続	27
	遅延	0	検討中	0
	計画段階	0	中止（完了）	0
③質の高い自然環境の確保	順調	32	継続	29
	遅延	1	検討中	4
	計画段階	5	中止（完了）	5
④快適な環境の創造	順調	41	継続	47
	遅延	7	検討中	6
	計画段階	6	中止（完了）	1
⑤地球温暖化の防止	順調	25	継続	27
	遅延	4	検討中	8
	計画段階	8	中止（完了）	2
⑥環境の保全と創造のための仕組みづくり	順調	13	継続	17
	遅延	4	検討中	4
	計画段階	4	中止（完了）	0
全211事務事業等の内訳	順調	163	継続	176
	遅延	21	検討中	26
	計画段階	27	中止（完了）	9

表2 指標・目標値に関わる事務事業の内容と実施状況(1/13)

基本目標	施策コード	担当課	事務事業名	事務事業の内容	目標となる数値等の指標等		事務事業の評価	事務事業の継続性と実施上の課題	根拠法令・条例・要綱等の有無及び名称	
					指標等の内容	実績値				
基本目標1 循環型社会の構築	1111	生活環境課	ごみ減量モニターの設置	ごみ減量モニターから、アンケート回答や感想・意見等を得る	ごみ減量モニターアンケートの実施回数	→	【計画段階】今後、要綱改正のうえ、新たにモニター制度を設置する。	【検討中】実施方法・アンケート項目等については検討中	長野市ごみ減量モニター設置要綱	
	1112	生活環境課	ごみ分別等啓発・指導(多量排出事業所関連)	減量に関する計画書、事業所台帳等の提出、立ち入り検査等。	多量排出事業所対象件数(件) 事業系一般廃棄物処理量(t)	↘ ↘	【順調】市一般廃棄物処理基本計画の数値目標である22年度目標値42,000tは20年度で達成されたことから、22年度目標値の見直しを行った。(37,618tに変更)	【継続】	長野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	
	1113	生活環境課	ながのエコ・サークル事業	申請事業所への調査及び認定、勉強会等の実施。	件数(認定事業所数)	↗	【順調】	【継続】	ながのエコ・サークル認定制度実施要綱	
	1114	生活環境課	家庭ごみ処理手数料制度	ごみ処理有料化の検討			【順調】概ね円滑に移行	【継続】制度の定着を図るとともに手数料徴収方法や指定袋の流通方法について検証		
	1121	清掃センター	リサイクルプラザ管理運営	不用品情報の集約、活用	リサイクルプラザ利用者数 リサイクル広場出展数		【順調】	【継続】		
	1122	生活環境課、環境政策課	ごみ処理企画調査	買い物袋持参運動の啓発			【順調】	【継続】ながの環境パートナーシップ会議のプロジェクトチームで継続		
	1123	清掃センター	ながの環境フェア実行委員会補助金	ながの環境フェアの充実	参加団体数 来場者数		【順調】	【継続】		
	1131	生活環境課		段ボール堆肥講座の開催	段ボール堆肥講座を市内各地区で開催	段ボール堆肥講座の開催	↗	【順調】	【継続】	無
				生ごみ減量アドバイザーの派遣	生ごみ減量アドバイザー(27人)を講師として派遣。	アドバイザー派遣回数	↗	【順調】段ボール堆肥講座が主。	【継続】	長野市生ごみ減量アドバイザー派遣事業実施要綱
				生ごみ減量アドバイザーの研修	生ごみ減量アドバイザーを対象とした研修会を毎年実施。	アドバイザー研修会実施回数	→	【順調】	【継続】	無
				ガーデニング講座の開催	造園家の講師を招いて、ガーデニング講座を開催する。	ガーデニング講座の実施回数	→	【順調】	【継続】	無
	1132	生活環境課		大型生ごみ処理支援モデル事業	地域単位でのモデル事業として芹田若里中央区にて実施。	生ごみ投入件数・重量(H21.11~)	↗	【遅延】導入後、利用者が増加していない点が課題である。	【継続】来年まで継続利用者が増加しない場合は事業継続について見直す場合もある。	無
				生ごみ一次生成物回収事業	生ごみ一次生成物を、市役所で回収し、協力農家(2件)に活用してもらう。	生ごみ一次生成物回収量(kg)	↘↗	【順調】毎年一定量の回収がある。	【継続】	無
	1133	生活環境課	生ごみ自家処理機器購入補助	・自家処理容器 1個につき3,000円以内(1世帯当たり2個まで) ・電動(手動)生ごみ自家処理機 2分の1以内(3万円を限度)(1世帯当たり1台まで) 補助率=1/2(限度額100万円)	生ごみ自家処理機器補助金交付件数	↗	【順調】	【継続】再申請制度を廃止し、段ボール堆肥の器材購入補助等の新設補助も検討していきたい。	長野市生ごみ自家処理機器購入費補助金	
	1134	生活環境課	生ごみ等地域循環支援モデル事業	※1団体当たり3年度限り	補助金交付団体数	→	【遅延】参加団体の伸び悩み。	【検討中】積極的に情報提供を行うとともに相談体制を整えて対応していく。	長野市生ごみ等地域循環支援モデル事業補助金交付要綱	
	1211	生活環境課		資源回収報奨金	【報奨金の額】 ・雑誌=6円/kg(逆有償加算金2円/kgまで) ・段ボール=6円/kg(逆有償加算金1円/kgまで) ・その他資源=6円/kg	資源回収量(トン)	→	【順調】参加団体数等、一定量を保持。	【継続】適正な報奨金単価の検証等が必要。	長野市資源回収報奨金交付要綱
資源回収団体数					↗					
資源回収報奨金交付額(円)					→					
1212	生活環境課	ごみ収集運搬	毎週日曜日に、市内22ヶ所(スーパーの駐車場、合併地域の支所)で資源物の回収。	年間回収量(全品目合計量、単位:kg)	↗	【順調】	【継続】混雑等、周辺への迷惑防止が課題。	無		
1221	生活環境課		ごみ分別等啓発・指導	住民説明会、出前講座、広報、その他のメディア等によりごみの減量及び分別の徹底を図る。	出前講座(独自講座含む)	→	【順調】	【継続】	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(第6条)	
					住民説明会	→				
					環境美化研修会	→				
					リサイクル率(%)	↗				
				家庭系一般廃棄物の可燃ごみに占める紙類の割合(%)	↘					
1222	下水道施設課	汚泥ケーキ、汚泥焼却灰再利用処理業務委託	脱汚泥、汚泥焼却灰をセメント原料化する産業廃棄物中間処分場への処分委託	汚泥(汚泥焼却灰)有効利用率(%)	↗	【順調】	【継続】	無		
1224	交通政策課	放置自転車リサイクル事業	リサイクル可能な放置自転車を自転車組合へ売却し、市内の自転車店においてリサイクル自転車として再整備し販売。	リサイクル自転車販売台数(台)	↗	【順調】	【継続】	放置自転車リサイクル事業に関する実施要綱		

表2 指標・目標値に関する事務事業の内容と実施状況(2/13)

基本目標	施策コード	担当課	事務事業名	事務事業の内容	目標となる数値等の指標等		事務事業の評価	事務事業の継続性と実施上の課題	根拠法令・条例・要綱等の有無及び名称
					指標等の内容	実績値			
基本目標1 循環型社会の構築	1311	産業廃棄物対策課	産業廃棄物処理監視指導 一般廃棄物処理監視指導	産業廃棄物の適正処理のための監視指導を徹底するとともに、関係機関と連携し、不法投棄の監視や撤去の指導などの強化を図る。			【順調】重点的な対応を要する事業者に対しては、継続的な監視・指導を行っている。	【継続】	
	1312	産業廃棄物対策課		産業廃棄物の適正処理を推進するため、産業廃棄物処理事業者の指導・育成を行う。	監視・指導立入件数	↗	【順調】重点的な対応を要する事業者に対しては、継続的な監視・指導を行っている。	【継続】	
	1313	農政課		農業用廃プラスチックの適正処理を推進する。			【計画段階】	【検討中】3234と合わせて検討。	
	1321	生活環境課	ごみ分別等啓発・指導	・住民説明会、出前講座、広報、その他のメディア等。 ・事業所に対して訪問指導等。	出前講座(独自講座含む) 住民説明会 環境美化研修会	→ → →	【順調】今年度から実施の住民説明会はほとんどの地区から開催要望あり。	【継続】	廃掃法
	1322	生活環境課	一時保管不燃物処理	処理困難物の処理方法周知、回収ルート構築			【計画段階】	【完了】鬼無里地区のみを対象とした事業でH21に終了	
	1323	生活環境課	ごみ分別等啓発・指導	プラスチック製容器包装の分別に関する啓発	出前講座(独自講座含む) 住民説明会 環境美化研修会		【順調】	【継続】	
	1324	生活環境課	不法投棄対策	不法投棄パトロールや不法投棄物の回収を実施。 監視カメラ(ダミー含む)や防止ネット、看板を設置。	不法投棄回収件数 不法投棄回収量(単位:t) 職員パトロール日数(回収含む) 委託パトロール日数(回収含む)	↗ ↗ ↗ ↗	【順調】監視カメラにより行為者を特定し警察へ通報することができた。	【継続】さらなる対策強化が必要。	廃掃法
	1325	環境政策課	生活環境公害対策 (放置自動車処分)	市管理土地の放置自動車の、所有者等の特定と自転車の処分。	放置自動車処分台数	→	【順調】	【継続】今後も関連法や経済情勢の動向に応じて対応していく。	長野市放置自動車処理要綱
	1331	清掃センター	焼却施設、資源化施設、最終処分施設 管理運営及び改修	焼却施設、処分場の計画的な整備(改修)	改修工事金額		【順調】計画通り設備改修を実施	【継続】新焼却施設稼働までの間は対応が必要 最終処分場においては、施設廃止後も大規模工事を実施する必要あり	
	1332	生活環境課	最終処分場の埋め立て量	【天狗沢最終処分場】 ・埋立容量=285,000m ³ (H22.4現在の残余容量=26,742m ³)、埋立面積=24,000m ² ・埋立最終年度=H24年度末	最終処分場の埋め立て量(t)	↘	【順調】残余容量も残り僅かとなったことから、調整を図りながら、平成24年度末に埋立終了予定。	【継続】平成24年度末に終了し、今後の管理体制を地元と協議が必要。また、次期処分場の早期な施設整備が重要課題である。	無
	1333	生活環境課	長野広域連合負担金 ごみ処理施設計画	ごみ処理広域化基本計画では、ごみ焼却施設施設450t(長野市)、ごみ焼却施設100t(千曲市)、最終処分場18万m ² (須坂市)の建設が計画されている。長野市として、ごみ焼却施設の建設同意を得る。			【遅延】	【継続】早期にごみ焼却施設建設の同意が得られるよう長野広域連合と協力・連携していく。	地方自治法第291条9 長野広域連合規約第18条2
				し尿処理施設の適性配置の検討	広域的・効率的なし尿処理施設の適正配置について検討。		【遅延】各施設で課題があることが判明。	【検討中】し尿処理施設の広域化を検討したが、H19に施設ごとご取組むことになっている。	無
	1334	生活環境課	ごみ処理施設計画	地元との協議を重ね、理解を得て施設建設について地元同意を得る。			【遅延】	【継続】	無
	1335	生活環境課		広域的・効率的なし尿処理施設の適正配置について検討する。			【計画段階】	【継続】今後の長野市衛生センターのあり方について検討中。	

表 2 指標・目標値に関わる事務事業の内容と実施状況 (3/13)

基本目標	施策コード	担当課	事務事業名	事務事業の内容	指標等の内容		事務事業の評価	事務事業の継続性と実施上の課題	根拠法令・条例・要綱等の有無及び名称
					指標等の内容	実績値			
基本目標 2 良質な生活環境の確保	2111	環境政策課	環境汚染対策(大気汚染常時監視)	一般環境大気測定局を4局、自動車排ガス測定局2局における大気の常時監視。	大気汚染物質等常時監視項目数(のべ数)	→	【順調】	【継続】	大気汚染防止法第22条
			環境汚染対策(有害大気汚染物質調査)	有害大気汚染物質を市内2ヶ所で月に1回調査。	有害大気汚染物質測定項目数(のべ数)	→	【順調】	【継続】	大気汚染防止法第22条
			環境汚染対策(水質常時監視)	河川・用水及び湖沼・農業用池など、公共用水域の水質測定を実施。	河川環境基準年間測定回数(回)	→	【順調】	【継続】	水質汚濁防止法第15条
					裾花川のBOD75%値(mg/L)	→			
					鳥居川のBOD75%値(mg/L)	→			
	市内中小河川10河川年間測定回数(回)	→							
	大座法師池年間測定回数(回)	→							
	2112	環境政策課	環境汚染対策(大気汚染防止法届出施設設立入検査)	法で定める施設に計画的に立入検査を実施し、必要に応じて行政指導及び命令。	大気汚染防止法届出施設立入検査回数	→	【順調】	【継続】	大気汚染防止法
			環境汚染対策(水質汚濁防止法届出施設設立入検査)	法または条例で排水基準の適用される施設について、計画的に立入検査を実施し、必要に応じて行政指導及び命令。	水質汚濁防止法届出施設立入検査回数	→	【順調】	【継続】	水質汚濁防止法
	2113	環境政策課	環境汚染対策	大気汚染・水質汚濁に関する事業場指導等の一環の中で、住民との公害防止協定の相談に依っていく。	協定に基づく会議へのオブザーバー出席	→	【順調】	【継続】	
			生活環境公害対策	騒音・振動・悪臭などに関する苦情対応の一環の中で、住民との公害防止協定の相談に依っていく。	協定に基づく会議へのオブザーバー出席	→	【順調】	【継続】	
	2121	下水道建設課	公共下水道	公共下水道区域内の下水道管渠布設工事の実施。	整備区域面積(累計・ha) 面積整備率(%)	↗ ↗	【順調】	【継続】平成29年度末の全戸水洗化を目指している。	下水道法
	2122	環境政策課	長野市合併処理浄化槽設置事業補助金交付(環境政策課)	補助対象となる合併処理浄化槽を設置する者に補助金を交付。	合併処理浄化槽整備区域での浄化槽設置基數	↗	【順調】	【継続】公共下水道等の整備が相当期間を要する区域へは、個人設置の浄化槽に補助事業を継続する必要がある。	浄化槽設置整備事業実施要綱(環境省の要綱) 合併処理浄化槽整備事業補助金交付要綱(県の要綱) 長野市合併処理浄化槽設置事業補助金交付要綱
			長野市戸別浄化槽事業(業務課)	市が浄化槽を設置・維持管理をし、利用者が公共下水道に準じた使用料を負担する事業	合併処理浄化槽整備区域での浄化槽設置率	→	【順調】	【継続】H23年度より戸別浄化槽の制度を市内全ての浄化槽区域に拡大。	浄化槽市町村整備推進事業実施要綱(環境省の要綱) 水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例 長野市戸別浄化槽の管理に関する条例 長野市戸別浄化槽の管理に関する施行規程
	2123	環境政策課	浄化槽監視指導	設置時の審査、設置後の検査、浄化槽の管理者に対して立入り検査・指導。	立入り検査数	↘	【順調】	【継続】長野県浄化槽協会との連携強化が必要。	浄化槽法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	2124	生活環境課	生活雑排水簡易浄化槽清掃事業費補助金	許可事業者が行う生活雑排水簡易浄化槽清掃事業に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付。	延べ清掃基數(基) 補助金額(千円)	↘ ↘	【順調】下水道接続や合併浄化槽設置に伴い、対象の簡易浄化槽が減少し、補助金交付額も減少。	【継続】	長野市生活雑排水簡易浄化槽清掃事業補助金交付要綱
	2131	環境政策課	環境汚染対策(環境ダイオキシン類調査)	大気、水質・底質、地下水、土壌の調査を毎年実施し、結果をHP等で公開。	ダイオキシン類調査地点数(のべ数)	→	【順調】	【継続】	ダイオキシン類対策特別措置法
環境汚染対策(環境大気アスベスト調査)			大気中のアスベスト濃度を測定し、HP等で公開。	アスベスト調査地点数	→	【順調】計画的に調査を実施している。	【継続】	大気汚染防止法	
2132	環境政策課	環境汚染対策(PRTR制度自治体窓口、情報提供)	PRTR制度に伴い、事業所が提出する化学物質の移動量や環境中への排出量報告書の受付、国への提出、照会窓口・ホームページやパンフレットを用いたPRTR制度の紹介及び情報提供	長野市内報告事業所数	→	【順調】	【継続】H23年度報告分から政令改正が反映される為、事業所への周知とフォローが必要。	化学物質排出把握管理促進法	
				長野市内大気排出総量(kg)	↗				
				長野市内水域排出総量(kg)	↗				
				長野市内下水道移動総量(kg)	↗				
				長野市内廃棄物移動総量(kg)	↗				
2133	環境政策課	環境汚染対策(長野市HP上でのダイオキシン類に関する情報の掲載)	長野市HP上で、関係機関が公表しているダイオキシン類に関する資料等を紹介。	長野市HPでのダイオキシン類に関する情報掲載(リンク先)	→	【順調】	【継続】	ダイオキシン類対策特別措置法3条2項	
2211	環境政策課	生活環境公害対策	ゴミの野焼きの禁止の指導や、アイドリングストップの啓発等により、苦情を抑制する。 ・公害を申し立てている者からの要望により、原因を調査し発生源への対応を行う。	大気汚染防止推進月間の広報「広報ながの」(回)(まきストップ、アイドリングストップ等)	→	【順調】	【継続】	騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法ほか	
				薪ストップ適正使用、大気汚染防止推進月間の広報「FMぜんこうじ」(回)	→				
				環境月間、アイドリングストップ推進の広報「広報ながの」(回)	→				
				環境月間、アイドリングストップ推進の広報「FMぜんこうじ」(回)	→				
				アイドリングストップ推進の広報のほり旗啓発(回)	→				

表 2 指標・目標値に関わる事務事業の内容と実施状況 (4/13)

基本 目標	施策 コード	担当課	事務事業名	事務事業の内容	目標となる数値等の指標等		事務事業の評価	事務事業の継続性と実施上の課題	根拠法令・条例・要綱等の有無及び名称	
					指標等の内容	実績値				
基本 目標 2 良好な生活環境の確保	2212	環境政策課	環境汚染対策	・大気汚染や水質汚濁等の被害を訴えている苦情に対し、原因の究明と改善の指導等をする。 ・大気汚染の防止等について広報を行い、苦情の発生が減るように啓発を行う。	公害苦情処理件数の総数 (大気、騒音/振動、悪臭含む)	→	【順調】	【継続】	大気汚染防止法、水質汚濁防止法ほか	
					大気汚染防止推進月間の広報「広報ながの」(回) (まきストーブ、アイドリングストップ等)	→				
					薪ストーブ適正使用、大気汚染防止推進月間の広報「FMぜんこうじ」(回)	→				
					環境月間、アイドリングストップ推進の広報「広報ながの」(回) 環境月間、アイドリングストップ推進の広報「FMぜんこうじ」(回)	→				
					アイドリングストップ推進の広報のほり旗啓発(回)	→				
		生活環境公害対策	・騒音、悪臭等の被害を訴えている苦情に対し、原因の究明と改善の指導等をする。 ・事業場の臭気測定等を実施し、公害発生源への対策指導等を行う。	大気汚染防止推進月間の広報「広報ながの」(回) (まきストーブ、アイドリングストップ等)	→	【順調】	【継続】	騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法ほか		
				薪ストーブ適正使用、大気汚染防止推進月間の広報「FMぜんこうじ」(回)	→					
				環境月間、アイドリングストップ推進の広報「広報ながの」(回) 環境月間、アイドリングストップ推進の広報「FMぜんこうじ」(回)	→					
				アイドリングストップ推進の広報のほり旗啓発(回)	→					
				高速道路騒音測定(地点)	→					
	2213	環境政策課	環境教育(環境学習会の開催(スターウォッチング))	環境学習会の開催(スターウォッチング夏・冬)	星空観察会参加者数	→	【順調】参加者数は目標には達しないが、光害への関心は高まっている。	【継続】参加者が、特定の市民に偏らないよう図る必要がある。	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律	
					星空観察会参加者によるアンケート数	→				
		環境政策課	環境美化啓発	環境美化活動、ゴミゼロ運動等及び環境美化啓発(懸垂幕の掲出、バスエプロン広告・バス側面広告の掲出等)	市民・事業者等へ参加を促しライトダウンキャンペーンを開催			【順調】「捨てられにくい環境づくり」が進展。	【継続】条例の制定と合わせて一層の啓発活動を推進。	無
						側溝土砂清掃	各地区の側溝清掃で上がった土砂の収集・運搬(業務委託により実施)			
		環境政策課	グリーン長野運動推進本部補助金	グリーン長野運動推進本部補助金	ゴミゼロ運動、環境美化キャンペーン、調査・研究等の活動に補助金を交付。	ゴミゼロ運動(市内主要13会場)参加者数 ※H20及びH21については春は雨天のため中止。	→	【順調】「捨てられにくい環境づくり」が市内で進んでいる。	【継続】補助金額は、随時見直していく。	無
		2223	交通政策課	放置自転車対策	長野駅善光寺口付近を自転車等整理区域に指定し、放置自転車等の撤去を行う。また、自転車の適正利用について啓発を行う。	放置自転車撤去台数 (長野駅善光寺口付近)	→	【順調】放置自転車の解消にはいたっていないが、撤去作業については順調に実施。	【継続】	長野市自転車の適正利用の促進にかかるとする条例
						生活環境公害対策(空き地の適正管理指導)	市民から空き地の管理について相談が寄せられた際、権利者に対して指導等を実施。			
2224	環境政策課	環境美化啓発	「ポイ捨て防止看板」について、各地区住民自治協議会の購入希望数の取りまとめ及び業者への発注。	回転した看板枚数	→	【順調】	【継続】	無		

表 2 指標・目標値に関する事務事業の内容と実施状況 (5/13)

基本 目標	施策 コード	担当課	事務事業名	事務事業の内容	目標となる数値等の指標等		事務事業の評価	事務事業の継続性と実施上の課題	根拠法令・条例・要綱等の有無及び名称
					指標等の内容	実績値			
基本目標3 質の高い自然環境の確保	3111	環境政策課	自然環境保全調査(自然環境保全推進委員)	自然環境保全推進委員から、動植物種の生息状況及び地形・湧水等の状況や、市内の自然環境の変化等に関する調査結果、及び普及啓発のための活動等に関する報告書の提出を受ける。	自然環境保全推進委員活動報告件数	→	【順調】	【継続】	長野市自然環境保全条例
	3112	環境政策課	環境汚染対策(水生生物調査)	5年ごとに市内の主な中小河川の水生生物を調査し、河川沿いの看板やマップに結果を整理。	委託による水生生物調査地点数 水生生物看板設置更新数 水生生物マップ作成数	→ → →	【順調】	【継続】次回一斉調査を平成25年度に計画。	
	3113	農政課	漁業関係団体補助金	漁業協同組合への補助を通じて、適正な事業推進により、外来魚の捕獲を実施している。			【順調】外来種のほか、最近では川鵜の飛来により、魚類の被害も増加しており、その防除対策も講じる必要がある。	【継続】	長野市農業団体補助金交付要綱
	3114	環境政策課	自然環境保全調査(飯綱高原実験林事業)	東京農工大学亀山名誉教授に20年にわたり飯綱高原実験林の植生の遷移状況調査を依頼。併せて定期的な間伐、木道の整備等を行っている。	飯綱高原実験林の報告書	→	【順調】実験林の自然の環境が復元されつつある。	【継続】林相の自然の変化を観察するには長い期間を要する。	無
	3115	環境政策課	自然環境保全調査(飯綱高原実験林事業他)	飯綱高原に本来あった生態系の回復を試み、また木道を整備し、多様な森林景観を展示する。逆谷地湿原の木道を整備し、市民に自然観察の場を提供している。	実験林補修整備事業回数	→	【順調】	【継続】	無
	3116	環境政策課	自然環境保全調査(飯綱高原実験林事業)	森林の復元のため、必要な間伐、下草刈り等の作業を行う。	実験林間伐、下草刈り実施回数	→	【順調】	【継続】	無
	3117	農政課	野生鳥獣被害防除対策事業	希少動物保護(原生種育成事業)	原生種配布実績数	→	【順調】	【継続】	無
	3117	農政課	野生鳥獣被害防除対策事業	地区協議会が実施する、柵、檻の設置など防除対策やイノシシ、サル、ニホンジカの駆除・個体数調整などに対して補助している。			【遅延】各地区で防除対策を講じており、防護柵等を実施した地区では効果は表れているが、被害や獣類の出没は全域に拡大しつつある。	【継続】今後も地域や集落ぐるみでの対策を推進するとともに、事業を拡充させて、できるだけ地域の活動を支援していく。	野生鳥獣被害防除対策事業補助金交付要綱
	3121	環境政策課	希少動物保護(希少動物植物生態調査事業)	シナイモツゴ、オオムラサキ、モリアオガエルの生態調査を実施し、保護策について検討した。	調査対象種数	→	【計画段階】調査・検討は実施したが、具体的な保護策の実施にはまだ至らなかった。	【検討中】今後必要に応じ調査、保護策の実現を検討していく。	無
	3122	環境政策課	自然環境保全調査(「大切にしたい長野市の自然」改訂版作成業務)	長野市環境審議会自然環境調査専門部会による、「大切にしたい長野市の自然」改訂作業を進めていく。	自然環境調査専門部会開催回数	→	【順調】	【継続】平成24年度刊行予定。	無
	3123	環境政策課	自然環境保全調査	一定規模以上の公共事業について、意見書をつけ、工事に当たっての注意を行っている。	意見した公共事業の件数	↗	【計画段階】意見照会について制度として確立されていない。	【検討中】対象となる公共事業について検討が必要である。	無
	3131	環境政策課	自然環境保全調査(自然環境保全条例事務)	長野市自然環境保全条例に基づく規制の実施。	長野市自然環境保全条例許可件数	→	【順調】	【継続】	長野市自然環境保全条例
	3131	建築指導課	開発行為等の規制に関する業務	長野市開発指導要綱、及び各種行政指導基準に基づき、開発事業者に対し、適切な指導をしている。	開発許可申請件数	→	【順調】	【継続】	無
	3131	都市計画課	区域区分の見直し(線引き見直し)	市街化区域と市街化調整区域の区域区分の変更(見直し)			【順調】	【継続】今後、少子高齢、人口減少社会に対応した区域区分の見直しを実施していく必要がある。	都市計画法
	3132	環境政策課	自然環境保全調査(「大切にしたい長野市の自然」改訂版作成業務)	「大切にしたい長野市の自然」改訂版作成のための調査を通じ、今後の地域指定に当たって自然環境の基礎資料を収集している。			【計画段階】「大切にしたい長野市の自然」改訂作業を通じ合併地域を中心とした自然環境の基礎資料を収集中であり、追加の地域指定については改訂作業終了後に改めて検討する。	【継続】	無
	3133	環境政策課		ミニアセスメント制度導入検討			【計画段階】	【中止】従来の規制への上乗せとなるものであるが、適用範囲等を含め、導入の是非の判断が困難。	
	3211	森林整備課	山林野保全事業	山林野保全指導員を任命(10人)し、パトロール及び指導、啓発看板の設置	山林野保全指導員の任命 啓発看板の設置	→ ↘	【順調】動植物の乱獲防止が図られている。	【継続】	長野市山林野保全条例
	3212	環境政策課	ながの環境パートナーシップ会議負担金(「市民の森」設立プロジェクト)	ながの環境パートナーシップ会議への負担金の支出及び同幹事会の事務局			【順調】里山整備やそれに関わる人材の育成を行っている。	【継続】今後は、ネットワークの拡充を図る。	無
	3213	森林整備課	森林体験事業	森林体験学習等を内容とするイベントや講座を実施する。森林体験学習等を実施する団体に実施場所、道具、講師等の支援を行う。	森林体験参加人数(人) 森林体験延べ参加人数(人) 森林体験開催回数(回)	↗ ↗ ↗	【順調】体験者数が年々増加。	【継続】	森林・林業基本法 第6条

表 2 指標・目標値に関わる事務事業の内容と実施状況 (6/13)

基本目標	施策コード	担当課	事務事業名	事務事業の内容	目標となる数値等の指標等		事務事業の評価	事務事業の継続性と実施上の課題	根拠法令・条例・要綱等の有無及び名称	
					指標等の内容	実績値				
基本目標3 質の高い自然環境の確保	3221	森林整備課	公的森林整備事業	「森林整備保全重点地域」の間伐事業の推進及び事業費を国・県・市町村が負担する。補助率10/10	補助対象面積(ha)	→	【順調】	【継続】	長野県ふるさとの森林づくり条例	
			長野市間伐対策事業	林業事業者、個人が実施する間伐事業に補助金を交付する。補助率5/10(市単撤出)、8/10(市単切捨て)、1/10(嵩上げ 撤出 切捨て)	補助対象面積(ha)	→	【順調】(H22の実施見込みについては、市単事業から県所管の高率補助事業へ転向したことにより減少したもので、間伐面積が減少したものでない。)	【継続】	長野市間伐対策事業補助金交付要綱	
	3222	森林整備課	保安林指定予定地の地籍等調査	災害を未然に防ぎ、森林を保全するための治山事業の実施に当り、保安林指定に向けた調査等を実施。	保安林指定予定地の地籍等調査(箇所)	→	【順調】	【継続】	森林法	
	3223	森林整備課	木製ベンチの購入	間伐材を用いた木製品(長野森林組合製造)を市有施設に導入する。森林作り県民税を活用。	木製ベンチの購入	→	【順調】	【継続】	無	
	3224	森林整備課	森林整備加速化・林業再生事業	長野森林組合が導入する高性能林業機械に助成を行い、撤出間伐を促進する。	高性能林業機械導入	→	【順調】	【完了】平成22年度までの時限事業であるため。	長野市森林整備加速化・林業再生事業補助金交付要綱	
			林業経営構造対策事業	長野森林組合のオガ粉製造関連施設に対し助成を行った。 12,800m ³ /年のオガ粉生産を目指す。オガ粉はきのこ培地や畜産の敷材として利用するほか、ペレット加工	オガ粉製造施設整備	→	【順調】	【完了】平成22年度までの時限事業であるため。	長野市林業経営構造対策事業補助金交付要綱	
			林道・作業道整備事業	林道・作業道の開設、改良及び維持管理	林道・作業道開設	→	【順調】	【継続】	無	
	3225	森林整備課	森林整備加速化・林業再生事業	長野森林組合が導入する高性能林業機械に助成を行い、撤出間伐を促進する。	高性能林業機械導入	→	【順調】	【完了】平成22年度までの時限事業であるため。	長野市森林整備加速化・林業再生事業補助金交付要綱	
			林業経営構造対策事業	長野森林組合のオガ粉製造関連施設に対し助成を行った。 12,800m ³ /年のオガ粉生産を目指す。オガ粉はきのこ培地や畜産の敷材として利用するほか、ペレット加工	オガ粉製造施設整備	→	【順調】	【完了】平成22年度までの時限事業であるため。	長野市林業経営構造対策事業補助金交付要綱	
	3226	森林整備課	森林病害虫等防除事業(松くい虫被害防除事業)	松くい虫被害により枯れた松を伐採、薬剤くん蒸することにより、被害の拡大を防ぐ。	松くい虫被害木伐倒除材積(m ³)	→	【順調】	【継続】	森林病害虫等防除法	
	3227	森林整備課	森林体験事業	森林体験学習等を内容とするイベントや講座を実施する。 森林体験学習等を実施する団体に実施場所、道具、講師等の支援を行う。	森林体験参加人数(人) 森林体験延べ参加人数(人) 森林体験開催回数(回)	↗ ↗ ↗	【順調】体験者数が年々増加。	【継続】	森林・林業基本法 第6条	
	3231	農政課	長野農業振興地域整備計画	「長野農業振興地域整備計画」の変更申出により、長野市産業振興審議会農業専門分科会で審議し、変更(編入、除外)き「可」とされた案件は県と協議をし、同意を得て正式に変更が決定する。	農業振興専門分科会の開催(通常年2回) 変更件数 変更面積(編入、除外の差引合計)	→ → →	【順調】特に、大規模な変更は最近では減少傾向である。	【継続】	農業振興地域の整備に関する法律	
			農業土木課	農地・水・環境保全向上対策活動支援交付金	長野県農地・水・環境保全対策協議会が実施する事業に交付金を交付する。(交付金内訳)水田1,100円/10a、畑700円/10a、草地100円/10a	実施箇所 事業費(千円)	↗ ↗	【順調】参加地域が拡大。	【検討中】国において、事業継続がされなければ、H23年度で終了する予定	経営所得安定対策等大綱及び実施要綱
				市単土地改良事業	農道、ため池、橋梁、水路改修等の事業を実施する。	施行箇所 事業費(千円)	→ →	【順調】	【継続】	長野市農林土木事業補助金交付要綱
	3232	農政課	地産地消推進事業	「長野市地産地消推進計画」に基づき、地域食材の利用促進、直売所の支援、地域食文化の継承・食農教育の推進などの推進、及び地産地消協力店の認定等を実施している。			【順調】「地産地消推進協議会」、及び「地産地消推進会議」等が連携して、推進しており、徐々に普及、浸透してきている。	【継続】	地産地消農産物販売支援事業補助金交付要綱	
	3233	農政課	就農促進奨励金支給事業	各地区農業委員の推薦により推薦を受けた者を認定審査会で審査し、交付対象者を決定し、奨励金を交付する。	認定審査会	→	【順調】	【継続】	長野市就農促進奨励金支給要領	
	3234	農政課	環境にやさしい農業推進事業	・性フェロモン剤の導入に対する補助 ・生分解性マルチの導入に対する補助			【順調】各農協の生産計画に基づき、生産農家への普及は一定の効果を上げている。	【継続】環境負荷のため、廃プラスチックに替わる、生分解性マルチの普及に努める。	長野市農業振興事業補助金交付要綱	
	3235	農政課	市民農園管理運営事業				【順調】市民農園の管理運営は、指定管理者への指導等により、概ね順調に管理されている。	【継続】	長野市市民農園の設置及び管理に関する条例	
	3236	農政課	遊休農地を活かそう支援事業補助金	耕作放棄地対策、農地環境の保全			【計画段階】本事業としては中断(別事業で実施)	【検討中】国の動向により再開する可能性あり		

表2 指標・目標値に関する事務事業の内容と実施状況(7/13)

基本目標	施策コード	担当課	事務事業名	事務事業の内容	目標となる数値等の指標等		事務事業の評価	事務事業の継続性と実施上の課題	根拠法令・条例・要綱等の有無及び名称
					指標等の内容	実績値			
基本目標4 快適な環境の創造	4111	公園緑地課	公園緑地課事業全般	緑を豊かにする委員会の運営。緑を豊かにする計画に基づく、緑化推進	緑を豊かにする委員会開催回数	→	【順調】	【継続】	緑を豊かにする条例ほか
			篠ノ井中央地区公園建設	植栽工、園路広場工			【順調】	【継続】平成26年度完成予定	緑を豊かにする条例
	4112	公園緑地課	国補・篠ノ井中央地区公園建設	用地取得、敷地造成、植栽工			【順調】	【継続】	緑を豊かにする条例
			街区公園建設	街区公園の建設	街区公園数	↗	【順調】	【継続】	緑を豊かにする条例
	4113	公園緑地課	公共施設の緑化	一定規模以上の新設及び用途変更等を伴う工場・事業所に対し緑化を義務付け、苗木の購入費等に対し補助する。公共施設:20%を確保するよう指導	公共施設の緑化(%)	→	【順調】	【継続】	緑を豊かにする条例
			民有地の緑化	一定規模以上の新設及び用途変更等を伴う工場・事業所に対し緑化を義務付け、苗木の購入費等に対し補助する。民有地10%を確保するよう指導	事業所緑化補助件数	→	【順調】	【継続】	緑を豊かにする条例
	4114	公園緑地課	地域緑化事業	緑の募金の還元金等を財源として、区等に対して公民館の敷地等、公共的敷地の緑化のため、苗木・球根・プランター等を提供している。	緑化木配布金額	→	【順調】	【継続】	
			篠ノ井中央地区公園建設	現在建設中の篠ノ井中央公園内にピオトープを設置する			【計画段階】	【検討中】現在計画中	
	4115	公園緑地課	公園愛護会活動助成金	各公園ごとに設立される公園愛護会に対して報奨金を交付している	公園愛護会設立数	↗	【順調】設立数が増加。	【継続】	
			街路樹管理(街路樹愛護会報奨金)	街路樹愛護活動を自発的に行う団体に対し、報奨金を交付している	街路樹愛護会設立数	↗	【順調】設立数が増加。	【継続】	
	4116	公園緑地課	保存樹木樹林診断・剪定補助金	樹木医による調査診断及び剪定、枯枝の除去等の大規模剪定に要する経費に対して予算の範囲内で補助	長野市保存樹木医診断・大規模剪定 補助件数(件)	→	【順調】	【継続】	
	4117	公園緑地課	緑化推進街路樹管理	在来種の植栽(公共施設、街路樹)			【計画段階】公園緑地課では、植栽の管理のみを担当。樹種については工事担当課の判断に任せている。	【検討中】工事関連の環境配慮の徹底について改めて検討する。	
	4121	公園緑地課	公園愛護会活動助成金	各公園ごとに設立される公園愛護会に対して報奨金を交付している	公園愛護会設立数	↗	【順調】設立数が増加。	【継続】	
			街路樹管理(街路樹愛護会報奨金)	街路樹愛護活動を自発的に行う団体に対し、報奨金を交付している	街路樹愛護会設立数	↗	【順調】設立数が増加。	【継続】	
	4122	商工振興課	工場等緑化事業助成金	工場又は産業団地に事業所を有する者が、植栽を敷地面積の10%以上行う場合、事業費に対して助成。(補助率)当該事業費に20/100を乗じて得た額以内。年額5,000万円を限度。	補助件数(件)	↗	【順調】	【継続】	長野市商工業振興条例
		公園緑地課	事業所等緑化補助金	一定規模以上の新設及び用途変更等を伴う工場・事業所に対し緑化を義務付け、苗木の購入費等に対し補助する。民有地10%を確保するよう指導	事業所緑化補助件数	→	【順調】	【継続】	緑を豊かにする条例
	4211	環境政策課	環境政策課	節水対策、雨水利用促進のための啓発			【計画段階】	【検討中】河川課で事業実施	
4212	河川課	雨水貯留施設設置事業助成金	雨水貯留施設の設置者への助成金の交付(貯留タンクの助成金額は購入費の1/2で、助成限度額がタンク容量100リットル以上500リットル未満が25,000円、500リットル以上が50,000円。浄化槽転用の助成金額は改造費用の2/3で、助成限度額が100,000円。)	設置基数(基) 申請件数(件) 助成金額(千円) 貯留量(リットル)	↗ ↗ ↗ ↗	【遅延】申請件数が減少傾向。	【継続】広報活動等を積極的に行なう予定。	長野市雨水貯留施設助成金交付要綱	
4221	森林整備課	保安林指定予定地の地籍等調査	災害を未然に防ぎ、森林を保全するための治山事業の実施に当り、保安林指定に向けた調査等を実施。	保安林指定予定地の地籍等調査(箇所)	→	【順調】	【継続】	森林法	
4222	建築指導課	建築確認申請等の審査業務	長野市建築物防災指導要綱に基づき、区域を指定し、雨水処理対策について個別に行政指導している。	建築確認申請件数	→	【順調】	【継続】	無	
4223	環境政策課	環境汚染対策(事業所における地下水揚水量の把握)	事業所から提出される地下水揚水量の報告書の受理と集計を行って、地下水揚水量を把握している。市内2箇所地下水水位を観測している。	年間地下水揚水量(m ³) 地下水揚水量報告件数(件) 地下水揚水量設備設置基数(基)	→ ↗ →	【順調】	【継続】	長野市公害防止条例	
4224	環境政策課	自然環境保全調査(「大切にしたい長野市の自然」改訂版作成業務)	「大切にしたい長野市の自然」改訂版作成業務により合併区域を中心とした湧水の調査を行っている。	自然環境調査専門部会開催回数	→	【順調】	【継続】	無	
4225	環境政策課	環境汚染対策(地下水概況調査)	長野市内の湧水を含む地下水の水質状況を把握するため、地下水の水質測定を実施	地下水水質測定地点数(地点) 湧水水質測定地点数(地点)	→ →	【順調】	【継続】	水質汚濁防止法	

表 2 指標・目標値に関する事務事業の内容と実施状況 (8/13)

基本目標	施策コード	担当課	事務事業名	事務事業の内容	目標となる数値等の指標等		事務事業の評価	事務事業の継続性と実施上の課題	根拠法令・条例・要綱等の有無及び名称	
					指標等の内容	実績値				
基本目標 4 快適な環境の創造	4231	河川課	河川改修・まちづくり交付金事業等	自然環境や親水性に配慮した水辺空間の整備	親水水路延長(累計)(m)	↗	【順調】事業の前倒しにより、既にH23年度末目標値に到達した。	【継続】	無	
	4232	河川課		多自然型水辺づくりの推進			【順調】	【継続】		
	4233	環境政策課	信濃川を守る協議会負担金 環境汚染対策(長野県水質測定計画)	信濃川を守る協議会へ負担金を支出している。	河川一斉パトロール回数	→	【順調】ゴミ回収量の減少は頭打ち。	【継続】	無	
				河川・用水及び湖沼・農業用地など長野県内の公共用水域の水質測定を実施している。	計画に盛り込まれた長野市内での環境基準点の測定箇所数	→	【順調】	【継続】	水質汚濁防止法	
		河川課	長野地区桜づつみモデル事業	・用地買収 A=21,963㎡ ・空間整備 L=3,250m(植栽403本・遊歩道2,229m・管理道路1,753m・四阿4棟)	用地買収面積(㎡/年)	→	【順調】	【継続】	「かわまちづくり」支援制度実施要綱	
					桜植樹本数(本/年)	→				
			・用地買収 A=11,200㎡ ・空間整備 L=1,120m(植栽140本・遊歩道1,120m・管理道路1,120m)	遊歩道延長(m/年)	→					
				管理道路延長(m/年)	→					
	4234	維持課	河川愛護会活動助成金	水辺の清掃、維持管理活動への支援	用地買収面積(㎡)	→	【計画段階】	【検討中】 流路確保主体の本事業以外の事業での対応を検討する。		
	4311	まちづくり推進課	「長野市の景観を守り育てる条例」の全面改訂、「長野市景観計画」の策定	景観法に基づいた、「長野市の景観を守り育てる条例」の全面改訂、「長野市景観計画」の策定を行う。	「長野市の景観を守り育てる条例」の全面改訂 平成19年8月23日公布、平成20年1月4日施行 「長野市景観計画」の策定 平成19年7月25日告示、平成20年1月4日発行		【順調】平成19年度に「長野市の景観を守り育てる条例」の全面改訂、「長野市景観計画」の策定を行った。	【完了】事業完了。	景観法	
	4312	まちづくり推進課	景観形成市民団体の育成と支援 長野市景観賞の表彰	区域の良好な景観形成を進めるため、市民団体を認定し、技術的支援や経費の一部助成を行う	景観形成市民団体の認定数(累計)(団体)	→	【遅延】各地域での、景観形成の活動が盛り上がりからず、新たな景観形成市民団体の認定に至っていない。	【継続】	長野市の景観を守り育てる条例	
				すぐれた景観の形成に寄与している建築物等を表彰する。	景観形成市民団体への補助件数(件) 景観形成市民団体への補助金額(千円)	↘ ↘				
				長野市景観賞応募件数 長野市景観賞表彰件数	→ →	【順調】	【継続】	長野市の景観を守り育てる条例		
	4313	まちづくり推進課	大規模行為の届出審査	大規模な建築行為等の届出に対して、景観形成基準に適合しているか審査し、指導を行う。	大規模行為届出件数	↘	【順調】	【継続】	景観法、長野市の景観を守り育てる条例	
	4314	まちづくり推進課	地区計画の制定及び審査 景観協定等の締結支援	地区計画の策定(都市計画決定)11地区 地区計画の審査 約200件(平成21年度実績)	景観協定の締結件数	→	【遅延】新たな景観協定の締結が進んでいない。	【継続】	長野市の景観を守り育てる条例	
	4315	まちづくり推進課	屋外広告物・設置許可事務 違反屋外広告物撤去業務委託	屋外広告物設置(更新)許可・指導	許可申請(更新)件数	↗	【順調】良好な景観形成が図られてきている。	【継続】	屋外広告物法・長野市屋外広告物条例	
				違反屋外広告物撤去業務委託	違反屋外広告物(はり紙・はり札・立看板等)の除却	違反屋外広告物除却件数	↘	【順調】違反屋外広告物の除却件数は、年々減少傾向にあり良好な景観形成が図られている。	【継続】	屋外広告物法・長野市屋外広告物条例
	4321	文化財課		大室古墳群保存整備事業	古墳の調査、修理、芝生、園路などの環境整備工事			【順調】	【継続】	文化財保護法
				新御殿跡保存整備事業	新御殿建物等の保存修理、庭園の保存修理工事			【順調】	【継続】	文化財保護法
旧金箱家住宅保存整備事業				保存活用計画の作成、建物の保存整備工事、庭園等の修理整備工事			【順調】	【継続】	無	
旧松代藩鐘楼保存整備事業				保存修理実施設計、保存修理工事			【順調】	【継続】	長野市文化財保護条例	
		伝統環境保存事業	区域内の建造物、庭園、泉水路、塀などの修理・修景に対する補助金の交付	伝統環境保存事業補助金交付件数(件)	↘	【遅延】今年度は、補助金申請がなく、景観整備ができなかった。	【継続】	伝統環境保存条例		
4322	文化財課	文化財保護補助金	伝統的建造物の登録の実施			【順調】	【継続】			
4323	まちづくり推進課	街なみ環境整備事業	歴史的景観等の保全のため、電線類地中化及び道路美装化等による住環境の整備改善を進めるとともに、歴史的景観と調和した建物等の外観修景に助成を行います。	電線地中化延長(累計)(m)	↗	【遅延】街なみ環境整備事業の事業期間内に、計画されている事業の全てを実施することは困難な状況である。	【継続】今後も、事業計画にある未実施の事業を継続する予定である。	社会資本整備総合交付金交付要綱		
4324	まちづくり推進課		良好な音環境の保全			【計画段階】	【検討中】音環境に関しては、基本目標IIで併せて検討する。			
4325	都市計画課	歴史のみちすじ整備事業	歴史のみちすじの整備(美装化)			【順調】	【継続】	都市計画法		
4326	環境政策課	自然環境保全調査	「大切にしたい長野市の自然」の改訂調査の中で、地域に親しまれている棚田などの優れた自然景観の把握を行う。	調査専門部会の開催	→	【順調】	【継続】平成24年度刊行予定。	無		

表2 指標・目標値に関わる事務事業の内容と実施状況(9/13)

基本 目標	施策 コード	担当課	事務事業名	事務事業の内容	目標となる数値等の指標等		事務事業の評価	事務事業の継続性と実施上の課題	根拠法令・条例・要綱等の有無及び名称
					指標等の内容	実績値			
基本目標 4 快適な環境の創造	4331	都市計画課、まちづくり推進		コンパクトシティの考えを取り入れた都市づくり			【計画段階】	【検討中】都市拠点の形成による集約型都市構造の実現を目指す。	
	4332	区画整理課	古牧中部土地区画整理	事業期間:平成12年度から23年度(予定) 施行面積:8.5ヘクタール 事業費:3,428,000千円 主な公共施設整備;高田若槻線W=25L=501 区画道路 W=5~10L=1,352 街区公園A=2,645(3公園)	古牧中部の事業費ベースでの進捗率	↗	【遅延】遅延はするが、H22年度で事業は概成する。	【継続】平成23年度に完了予定。	土地区画整理法
			組合施行土地区画整理事業補助金	檀田:平成7年度から16年度 下神代:平成17年度から19年度 瀬原田一丁田:平成8年度から21年度 中条:平成11年度から14年度 中水飽:平成18年度から20年度 水沢上庭:平成22年度から26年度(予定)	市助成金完了(最終年度)組合数	→	【順調】	【継続】平成22年度組合設立した「水沢上庭地区」へ平成26年度まで補助を行う。	土地区画整理法
				市助成金該当組合数	→				
			組合施行土地区画整理関連事業	檀田:平成11年度から17年度 瀬原田一丁田:平成12年度から21年度 中条:平成13年度から18年度 中水飽:平成19年度から21年度 水沢上庭:平成23年度から25年度(予定)	関連事業完了(最終年度)地区数	→	【順調】	【継続】平成22年度組合設立した「水沢上庭地区」関連を平成25年度まで行う。	土地区画整理法
			土地区画整理	古牧中部:平成12年度から23年度(予定) 檀田:平成7年度から18年度 下神代:平成16年度から20年度 瀬原田一丁田:平成8年度から25年度(予定) 中条:平成11年度から23年度(予定) 中水飽:平成17年度から23年度(予定) 水沢上庭:平成22年度から28年度(予定)	事業地区数	→	【順調】	【継続】平成22年度事業実施中の5地区の推進と新規地区の準備及び計画を進める。	土地区画整理法
駅周辺整備局	長野駅周辺第二土地区画整理事業	土地区画整理事業により、道路、公園等の公共施設の整備や個々の住宅の土地利用を一体的かつ面的に増進させる。	駅周辺第二土地区画整理事業・仮換地指定率(累計)	↗	【順調】	【継続】	土地区画整理法		

表 2 指標・目標値に関わる事務事業の内容と実施状況 (10/13)

基本目標	施策コード	担当課	事務事業名	事務事業の内容	目標となる数値等の指標等		事務事業の評価	事務事業の継続性と実施上の課題	根拠法令・条例・要綱等の有無及び名称
					指標等の内容	実績値			
基本目標5 地球温暖化の防止	5111	環境政策課	温暖化防止企画調査	啓発事業の推進。ホームページ等での啓発を実施			【順調】	【継続】省エネビジョンから、新たな省エネ施策を取り入れた「長野市地球温暖化対策地域推進計画」での施策推進に移行。	無
			ESCO事業	長野運動公園への事業導入と事業の啓発	ESCO事業導入施設数	→	【順調】保証量以上の二酸化炭素削減を実現している。	【継続】(事業契約期間満了まで)	無
	5112	環境政策課	ESCO事業導入事業		ESCO事業導入施設数	→	【順調】保証量以上の二酸化炭素削減を実現している。	【継続】(事業契約期間満了まで)	無
	5113	管財課	低公害車の導入計画	・低公害車の導入	・低公害車(低燃費・低排出ガス車)導入台数(台/年)	→	【順調】	【継続】順次、低公害車を導入促進していく。(H23年度は45台予定)長野市低公害車導入計画の見直し及び「第二次低公害車導入計画」を策定する。	長野市低公害車導入計画書
					・低公害車(天然ガス車=CNG車)導入台数(台/年)	→			
					・低公害車(ハイブリット車)導入台数(台/年)	→			
					・低公害車(電気自動車)導入台数(台/年)	→			
			長野市庁用車管理規程による運転審査	・運転審査時におけるエコドライブ(アイドリングストップ)実践の指導	・エコドライブの推進【運転審査時】(人/年)		【順調】	【継続】	長野市庁用車管理規程
	5114	環境政策課	環境教育(環境家計簿)	「エコに地球DAY!」として、環境のことを考えて生活する日を設け、エコアクションシートを作成してもらい、環境家計簿を配布する。	エコに地球DAY!取組(エコアクションシート報告)件数(件)		【遅延】環境家計簿の配布数を把握していないため、指標を含め再検討が必要	【継続】環境家計簿の入口として、「エコに地球DAY!」を有効に活用して従来配布していた環境家計簿の代替継続とする。参加賞の予算措置が必要である。	無
	5115	環境政策課	環境教育(環境家計簿) (※ただし、事業所向け取組としては計画段階)	「エコに地球DAY!」として、環境のことを考えて生活する日を設け、エコアクションシートを作成してもらい、環境家計簿を配布する。	事業所向け取組としては計画段階		【計画段階】ISO規格に則った厳格なLOAは、実質上は実施困難であるため、「ライフサイクル評価」として、エネルギー消費量とCO2排出量を取り上げた一般家庭向け環境家計簿を実施しているのみであり、事業所向けとしては計画段階である。	【検討中】実効性の高い方策を検討中	無
			ながの環境パートナーシップ会議負担金(支出・事務局運営)	負担金の支出、事務局運営	事業所向け取組としては計画段階		【遅延】現在事業者向けホームページの作成中である。	【継続】速やかな公表(ホームページ作成による)が必要である。	無
	5116	環境政策課	長野市地球温暖化防止活動推進センター補助金	ホームページ等センター事業を活用して温暖化対策の必要性、具体的な内容を啓発・アドバイスする。	長野市地球温暖化防止活動推進センター指定数		【順調】センターホームページにおいて啓発内容の充実を図っている。	【継続】	地球温暖化対策の推進に関する法律
	5117	環境政策課	ながのエコ・サークルの制度拡大	エコサークルの対象に省エネ活動を含める。			【計画段階】	【検討中】長野市地球温暖化対策地域推進計画の施策実現に向けて、生活環境課と協議を進める必要がある。	
	5121	交通政策課		TDM(交通需要マネジメント)施策の検討	未実施		【計画段階】	【検討中】車なるマイカー通勤の抑制ではなく、代替手段としての公共交通機関の整備が必要。交通量調査の必要性についても検討が必要。	
	5122	交通政策課	在来線整備・利用促進協議	公共交通機関の利用促進の検討(運行費補助、バスレーンの拡大等)			【計画段階】	【検討中】公共交通の利用促進を図るための施策内容を明確化して検討。	
5123	交通政策課		マイカー通勤自粛等のPR			【順調】広報等を用い、PRに努めている。	【継続】利用者の減少に伴う減便などで公共交通機関の利便性が低下するとともに、道路整備の進展によりマイカーの利便性・有利性が拡大している状況がある。		
5124	交通政策課		駅前駐車場・駐輪場の整備			【順調】	【継続】駅前等への駐輪場の整備については、放置自転車解消のためにも重要な課題ではあるが、駐輪場として整備できる適地がなく、必要な駐輪台数の確保が困難である。		
5125	環境政策課	長野市地球温暖化防止活動推進センター補助金	エコドライブについて、センターホームページ等で啓発を行なう。	長野市地球温暖化防止活動推進センター指定数		【順調】	【継続】	地球温暖化対策の推進に関する法律	
		温暖化防止企画・調査	全戸配布する暮らしのガイドブックに地球温暖化対策を8ページ特集で掲載し、その中で啓発。	地球温暖化対策啓発パンフレット発行部数		【順調】	【継続】長野市地球温暖化防止活動推進センター事業で継続	無	
5126	交通政策課		物流の合理化、モーダルシフトに対する情報提供			【計画段階】	【検討中】温暖化対策の視点から情報提供や啓発を実施する。		

表 2 指標・目標値に関わる事務事業の内容と実施状況 (11/13)

基本目標	施策コード	担当課	事務事業名	事務事業の内容	目標となる数値等の指標等		事務事業の評価	事務事業の継続性と実施上の課題	根拠法令・条例・要綱等の有無及び名称	
					指標等の内容	実績値				
基本目標 5 地球温暖化の防止	5127	道路課	共和井線外5路線道路改良事業	道路バイパスの新設を4路線で実施する。延長 L=3.130m 幅員 W=11m~16m	バイパスの整備 6路線 4,980m	→	【順調】	【継続】		
			あんしん歩行空間事業	段差解消工事を毎年20箇所程度実施する。	歩道の段差解消の箇所累計	↗	【順調】	【継続】	長野市歩車道段差解消要領	
	5128	都市計画課	都市計画道路整備事業	都市計画道路等の整備				【順調】	【継続】都市計画道路の整備には非常に大きな事業費がかかるため、都市計画道路の見直しを実施している。	都市計画法
			セル環状道路整備	セル環状道路(長野大通り、国道406号、県庁篠ノ井線、ターミナル南通り、昭和通り)の整備。(平成9年度完了)				【順調】	【完了】	都市計画法
	5129	環境政策課	中央通り歩行者優先道路化社会実験	中央通り歩行者優先道路化に向けた社会実験を平成16年度1回(春)、平成17年度1回(春)、平成18年度2回(春、秋)、平成19年度2回(春、秋)、平成20年度1回(春、秋)、平成22年度中央通り歩行者優先道路化工事 L=約100m実施。				【順調】	【完了】	無
			長野市地球温暖化防止活動推進センター指定	長野市地球温暖化防止活動推進センター指定	長野市地球温暖化防止活動推進センター指定数			【順調】	【継続】	地球温暖化対策の推進に関する法律
	5211	環境政策課	太陽光発電システム普及促進事業補助金	住宅用、事業者用の太陽光発電システム設置に補助金を交付	太陽光発電システム設置補助金交付対象設備規模(kw)	↗		【継続】	【継続】	無
			小水力発電	大岡浅刈地区小水力発電施設の運用と、新規の小水力発電施設建設	風力・小水力発電導入設備規模(kw)	→		【継続】	【継続】	無
	5212	環境政策課	ESCO事業	ESCO事業による省エネ設備導入	天然ガスコージェネレーション発電設備規模(kwh)	→		【順調】	【検討中】新規導入候補施設について、エネルギー使用量のデータ収集を実施している。	無
			バイオマス利活用	バイオマスの利活用として、農家からの果樹剪定枝と薪ストーブオーナーとのマッチングのための、紹介及び斡旋を実施している。	事業参加者数(農家)	→		【順調】	【継続】	無
	5214	環境政策課	バイオマス利活用	地域で発生する間伐材等のバイオマス利活用による「中山間地の活性化」として「地球温暖化防止」を目指す。	事業参加者数(利用者)	→		【計画段階】	【継続】既存利活用の普及啓発や、未利用バイオマスの具体的利活用への検討を行う。	バイオマス活用推進基本法
	5215	環境政策課	バイオマス利活用	未利用バイオマスを活用した新エネルギーの検討を行う。	清掃センターでの廃棄物焼却による発電	→		【順調】バイオマタウンの推進	【継続】ごみ処理基本計画に基づく計画を策定する。	バイオマス活用推進基本法
	5221	生活環境課	長野広域連合負担金	「ごみ処理広域化基本計画」に基づき、ごみ処理施設を建設し管内から排出される可燃ごみを適正に処理・処分をする。これにより、建設費や維持管理費の削減が図れるほか、焼却に伴う熱エネルギーを効率よく回収し、地球温暖化などの環境への影響を低減させる。				【継続】	【継続】	地方自治法第291条9 長野広域連合規約第18条2
	5231	環境政策課	温暖化防止企画・調査	全戸配布する暮らしのガイドブックに地球温暖化対策を8ページ特集で掲載し、その中で啓発。	地球温暖化対策啓発パンフレット発行部数			【順調】	【継続】長野市地球温暖化防止活動推進センターを活用し市民への普及を行う。	無
	5232	環境政策課		新エネルギーの導入に取組む市民・事業者の支援				【計画段階】	【検討中】5117への統合を検討	
	5233	環境政策課	温暖化防止企画・調査	ながのエコシティブロジェクト推進協議会を設立し、市民ファンドを活用した太陽光発電システム設置促進の仕組み作り、事業所向けの設置を促進した。	協議会による太陽光発電システム導入規模(kw)	→		【順調】ながのエコシティブロジェクト会議が良好に推進されている。	【継続】事業効果を検証し、環境省に報告	無
			ながの環境パートナーシップ会議負担金	ながの環境パートナーシップ会議への負担金の支出				【順調】ながの環境パートナーシップ会議の太陽光エネルギー促進チームが活発に活動している。	【継続】	無
5234	環境政策課		公共施設での光熱費削減分の新エネルギー普及への活用				【計画段階】	【検討中】事業をどのような仕組みで実施するか検討が必要		

表2 指標・目標値に関わる事務事業の内容と実施状況 (12/13)

基本目標	施策コード	担当課	事務事業名	事務事業の内容	目標となる数値等の指標等		事務事業の評価	事務事業の継続性と実施上の課題	根拠法令・条例・要綱等の有無及び名称	
					指標等の内容	実績値				
基本目標6 環境の保全と創造のための仕組みづくり	6111	環境政策課	ながの環境パートナーシップ会議負担金(支出・事務局運営)	負担金の支出、事務局運営	推進プロジェクト数	→	【順調】プロジェクト数は目標値には達していないものの、昨年度に組織体制の見直しをしたことで、アジェンダの推進のための迅速な意思決定が図られ、各プロジェクトチームの活動が活発になり、プロジェクト数も増加傾向にある。	【継続】	無	
	6112	環境政策課	ながの環境パートナーシップ会議負担金(支出・事務局運営)(再掲)	負担金の支出、事務局運営	推進プロジェクト数	→	【順調】	【継続】	無	
	6113	環境政策課	ながの環境パートナーシップ会議負担金(支出・事務局運営)(再掲)	負担金の支出、事務局運営	推進プロジェクト数	→	【順調】	【継続】	無	
	6114	環境政策課		環境の保全と創造に向けて取り組む日の設定	未実施			【計画段階】	【検討中】独自の設定による効果が希薄	
	6115	環境政策課	ながの環境パートナーシップ会議負担金(支出・事務局運営)	負担金の支出、事務局運営	学校版EMS認定校	→	【遅延】「アジェンダ21ながの」のプロジェクトを推進しているが、学校版EMS認定校が未だ僅少であり、事業者についてはプロジェクトが現在計画段階となっている。	【継続】環境マネジメントシステムを確立している事業所が現時点では全体の3割以下と少なく、更なる普及・啓発が必要である。	無	
	6121	環境政策課		環境関連情報の収集・提供体制整備			【順調】	【継続】		
	6122	広報広聴課	まちづくりアンケート	市内在住の20歳以上の男女について、住民基本台帳から5,100人を等間隔無作為抽出。返信用封筒を同封した郵送方式。	有効標本数(通)	↗	【順調】	【継続】	まちづくりアンケート実施要領	
					回収標本数(通)	↗				
					回収率(%)	↗				
					設問数(問)	→				
	みどりのはがき	「みどりのはがき」は「広報ながの」5月1日号の裏表紙として全戸配布。長野市ホームページから電子メールにより意見等を送信することもできる。その他、「葉書」やFAXによる意見も随時受け付けている。	「みどりのはがき」通数	↘	【順調】	【継続】	みどりのはがき実施要領			
			「みどりのはがき～電子メール～」通数	↘						
「みどりのはがき」件数			↘							
「みどりのはがき～電子メール～」件数			↘							
市政出前講座	平成22年12月1日現在、107のメニューにより講座を実施している。うち環境分野に関する講座は19メニューある。広報紙やテレビ、ラジオなどにより事業を積極的に周知。	講座の開催件数(件)	↗	【順調】参加者や開催件数は拡大している。	【継続】市民の要望を把握しながら、現在のメニューの見直しや、新規メニューの拡大に努める。	長野市元気なまちづくり市政出前講座実施要綱				
		参加者数(人)	↗							
6123	環境政策課	環境教育(環境学習コーナーの運営)	環境情報を環境学習コーナーで市民に提供している。	環境学習コーナー利用者数	↘	【遅延】環境学習コーナーの一定数の利用者はあるものの、環境情報のデータベース化にまで至っていない。	【継続】体系的な環境情報データベースや環境情報システムの整備や周知が必要。	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律		
6124	環境政策課		事業者の環境監視情報提供システムの導入検討	未実施		【計画段階】	【検討中】昨今の情報伝達技術の変革により、費用対効果、実効性の面から有効性がない			

表2 指標・目標値に関わる事務事業の内容と実施状況 (13/13)

基本 目標	施策 コード	担当課	事務事業名	事務事業の内容	目標となる数値等の指標等		事務事業の評価	事務事業の継続性と実施上の課題	根拠法令・条例・要綱等の有無及び名称
					指標等の内容	実績値			
基本 目標 6 環境 の 保 全 と 創 造 の た め の 仕 組 み つ く り	6211	環境政策課	環境教育(環境学習推進プラン)	平成14年3月に策定された「長野市環境学習推進プラン」の施行。 平成20年度まで学校での「モデル校事業」のプログラムを「実践編その2」として作成し、全小・中学校に配布した。			【順調】	【継続】策定より年数を経過していることから、当該プランを見直し、より実践的に進める必要がある。	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律
	6212	環境政策課	環境教育(自然観察会の実施)	長野市実験林を活用した自然観察会の実施	自然観察会の開催回数	↘	【計画段階】平成21年度から当該事業は、体験学習の場・機会の整備・提供の点等から実施を見送っており、より実効性を高めるべく現在計画を策定している。	【検討中】H23年度についてはエコクラブを主体とした実験林で自然観察会を実施する予定である。	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律
	6213	環境政策課	環境教育(環境学習会の開催)	環境学習会(夏の川遊び・スターウォッチング)の開催	学習会参加者数 学習会開催数(自然観察会・夏の川遊び・スターウォッチング)	↘ ↘	【順調】	【継続】	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律
	6214	環境政策課	環境こどもサミット実行委員会負担金	民間団体との協働による実行委員会方式で環境こどもサミット実行委員会を組織、負担金を交付し、サミットを開催する。	サミット参加者数	↘	【順調】	【継続】参加者の拡充が課題。	無
	6215	環境政策課	環境教育(こどもエコクラブ事業)	本市はこどもエコクラブへのメンバー登録、全国事務局からの資料の受け渡し、毎月1回の交流学習会の開催、環境情報資料の提供及び相談業務の事務事業を実施している。	エコクラブ登録クラブ数 エコクラブ登録メンバー数 エコクラブ交流学習会参加者数(サミット除く)	↗ → →	【順調】クラブ数は目標には達していないものの、登録メンバーは概ね1,000人に達しており、環境活動をはじめる機会としての役割を果たしている。	【継続】国の事業としては廃止となっているが、市の方針としては施策を通じ継続していく。	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律
	6216	環境政策課	ながの環境パートナーシップ会議負担金(支出・事務局運営)	負担金の支出、事務局運営	学校版EMS認定校	→	【遅延】認定校が7校と少なく、更なる普及に向けた工夫が必要である。	【継続】	無
	6217	環境政策課	環境教育(環境学習コーナーの運営)	環境情報を環境学習コーナーで市民に提供している。	環境学習コーナー利用者数	↘	【遅延】環境学習コーナーの一定数の利用者はあるものの、環境情報のデータベース化にまで至っていない。	【継続】体系的な環境情報データベースや環境情報システムの整備や周知が必要。	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律
	6218	環境政策課		市民が行える環境測定・調査の機会の充実	未実施		【計画段階】	【検討中】学校単位で長期に実施してきたが、参加者が伸びず中止。市民ニーズの見極めが必要	
	6221	環境政策課	環境教育(環境学習リーダー研修会)	環境学習リーダー研修会の開催。地球温暖化、自然観察をテーマとした研修会を実施。	研修会修了証交付者数	→	【順調】	【継続】環境学習リーダーの研修会の委託と紹介制度の普及、リーダー同士の交流や研修が必要	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律